地域医療（診療所コース）

【研修目標】

1　一般目標（ＧＩＯ：General Instructional Objective）

地域包括医療の理念を理解し実践するために、地域の第一線の診療所において、外来診療・在宅診療・介護・福祉に関する知識・技術・態度を身につける。

2　行動目標（ＳＢＯs：Specific Behavior Objectives）

（１）かかりつけ医の役割を説明することができる。
（２）患者、家族、地域のニーズを身体・心理・社会的側面から把握し、対処できる。
（３）在宅診療の役割を理解し、訪問看護師と連携して活動する。
（４）患者をとりまく家族背景、住宅環境について注意すべき事項を説明できる。
（５）緩和・終末期医療を必要とする患者とその家族に対して、全人的に対応する。

【研修方略】

1　研修期間・場所

１か月間の研修を前半と後半に分け、横浜市総合保健医療センターと福村内科、または横浜市総合保健医療センターと福澤クリニックにて研修を行う。

2　方法

（１）外来にて一般内科の診療を行う。頻度の高い救急疾患に対して一次救急を行う。また、慢性疾患患者に対して、生活環境に配慮した生活指導を行う。必要に応じて専門病院へのコンサルテーションを行う。
（２）在宅で療養している患者宅を巡回して訪問診療を行う。介護者に対しても適切な指導を行う。入院の必要な患者に対して、タイミングを逃さずに判断を行う。
（３）訪問看護に同行する。
（４）老人保健施設入所者に対して、医学的管理を行う。

【研修指導医】

横浜市総合保健医療センター	センター長	塩﨑　一昌
横浜市総合保健医療センター	診療部長	久邇　之房
福村内科	院　　長	福村　基之
福澤クリニック	院　　長	福澤　邦康

【評価】

（１）各研修医は研修到達度の自己評価を評価表に記入する。
（２）研修指導医は研修期間終了時に、研修医の研修到達度を評価する。